

令和2年度



# 飯能一小だより



NO. 1 令和2年4月8日 飯能市立飯能第一小学校 校長 青柳 義久

## 入学・進級 おめでとう！

## 授業再開を心待ちにしています！



たくさんの花々が色鮮やかに咲き、私たち人間にも大きな希望を与えてくれる素晴らしい季節を迎えました。この春は、新型コロナウイルス感染拡大予防措置により3月5日から春休みまで臨時休校となり卒業式の延期・縮小、終業式の中止等、学校にとりましても大きな特別措置を取らざる得ない状況となってしまいました。そして現在も、入学・始業においても延期されることとなりました。(4月13日以降の詳細につきましてはHP やメール等でご連絡させていただきます)。未だ先が見えない状況ですが、4月になった今皆さんは入学、進級新しい学年となったわけです。一小は新入生 106 名を迎えて、全校児童606名、学級数 21 学級になります。本来なら、学校に元気ある声が響き、活気ある小学校となるはずですが、来る授業再開に向け、元気な皆さんの姿を楽しみに待ちたいと思います。新入生、そして進級した児童の皆さんも、友達や先生との触れ合いを期待しながら新型コロナウイルスに負けないようにして、待っていてほしいと思います。

## ◇「学校教育目標」と「目指す学校像」

令和2年度飯能第一小学校の学校教育目標は、

**あかるく なかよく たくましく**

です。このことは、未来を生きる児童にとって、是非身につけてほしい大切な内容と考えています。具体的には、

「あかるく」…元気で明るい子

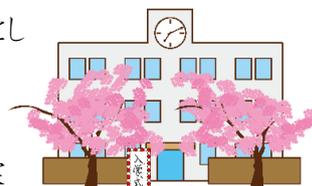
「なかよく」…仲間と共に力を合わせ活動する子

「たくましく」…最後まで頑張る子

とし、個の力、他との関わる力を持ち合わせた人になってほしいという願いがあります。一小の学校教育では、この目

**輝くひとみ きれいな学校**

ります。また、目標とする学校像として、を掲げました。児童が、保護者が、地域が笑顔・元気・夢をいっぱい持てるような学校づくりを実



践して参りたいと考えております。これらの学校教育目標、目指す学校像の実現に向け、学習をはじめとして全学校生活において指導して参ります。お子様の教育には、学校・地域・家庭の相互の連携・協力が大切と言われます。本年度も、引き続きましてご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 「ありがとう…」を伝えよう

みなさんは「ありがとう・・・」という言葉を使うことがあると思います。友達が優しくしてくれたときや教室で落としたものを拾ってくれたときに「ありがとう」って言いますね。普段使うことが多いこの「ありがとう」という言葉・・・言われるととてもうれしい言葉ですね。どんな意味があるかと思ったらこんな意味があることがわかりました。

「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」で、語源は「有り難し」からきているそうです。これは、「有る(ある)こと」が「難い(かたい)」という意味で、本来は「滅多(めった)にないこと」や「珍しく貴重」ということを表した言葉だそうです。「ありがとう」の反対語は「あたりまえ」ということになりすね。「あたりまえ」という心からは「ありがとう」の感謝は生まれませんね。今、自分の周りにあるたくさんの、あたりまえでないことをしっかり見つめ直すことも大切かもしれません。そして、相手に対して、当たり前でない感謝の気持ちを心からの「ありがとう」という言葉で伝えたいものです。

